

§ 6 . 今 後 の 課 題 と 展 望

現在までに架橋されたり、架橋中の主な複合斜張橋を挙げると（桁複合）

Kurt-Schumacher 橋。
Dusseldorf-Flehe 橋。
新 Tjorn 橋。
Rhein 橋。
Normandie 橋。
生口 橋。

等がある。これ等の複合斜張橋を計画するにあたっては、永い時間をかけて多くのことが検討されてきた。

しかるに、その内容は各橋梁単位に検討されており、共通事項をSpec.化する段階にまで至っていないのが現状である。

今回、当研究部会でとりまとめた「設計マニュアル」は、過去6年間の研究成果である。

今後は、鋼とコンクリートのみではなく橋梁技術のなかに新素材導入の日も遠くはないと思われる。

それぞれの材料特性を生かした橋梁形式の採用は、大型（長大）橋梁から中小橋梁にまで普及するものと考えられる。

そのためにも、複合（桁複合）斜張橋のSpec.の確立が急がれる処である。と同時に、維持管理に関する事項も検討を進める必要がある。